

2016年10月6日  
株式会社 日建設計 広報室

## 豊洲市場プロポーザルの技術提案書の補足説明

一部の報道機関から、当社が2011年1月に「盛土をしない提案を行っていた」との報道がありました。この報道に際して紹介された、プロポーザルの技術提案書の該当部について補足説明いたします。

該当部の主旨は、工事期間と工事費の圧縮を図る提案のひとつとして示したものです。具体的には、建物の基礎のかたちに合わせて、必要な箇所だけに盛土工事を行うことができれば、基礎のための掘削工事がなくなり、合理的な建築計画、工事工程計画が実現するという考え方です。設計者として選定され基本設計を行うことになれば、土壌汚染対策等との調整を重ね実現性を検討する前提で、提案したものです。

モニタリング空間については、基本設計の受託者に特定された後、業務期間中に東京都から「モニタリング空間を地下に設ける」よう指示を受け、設計に反映しました。なお、土壌汚染対策、地下水管理システムの設計監理は、当社の受託業務外であり、これらには関与しておりません。

〈備考〉

・本プロポーザルの正式名称：豊洲新市場建設工事基本設計に係るプロポーザル

・プロポーザル方式とは：建築設計を委託するうえで、もっとも適した「設計者（人）」を選ぶ方式です。技術力や経験、プロジェクトにのぞむ体制などを含めたプロポーザル（提案書）の提出を求め、公正に評価して設計者を選ぶ方式です。一方、コンペ方式とは、最も優れた設計案を選定する方式です。両者の違いは、選定する対象が、「設計者（人）」か、「設計案」かという明確な違いがあります。

「質の高い建築設計の実現を目指して－プロポーザル方式－（国土交通省大臣官房官庁営繕部）」より抜粋

<http://www.mlit.go.jp/gobuild/sesaku/proposal/2006-4.pdf>

